

「銅像」 『建築雑誌』 253、1908年1月、35～頁。

ける由は豫て展々漏れ承る所なるが昨年五月陛下には是に是等御法に歸するものありき  
召されその紀念にて御會食所の建物を其儘公に御下賜相成りたれば公は世にも有難き  
御恩命に感激し直に斯界の名匠伊藤清作氏を名古屋より招寄せ地を府下荏原郡大井村大字森  
小字山中に相して建築工事に着手せしめしが爾來七ヶ月の日子を重ねて此程芽出度く落成を  
告げられたれば本月五日の吉辰を選び同村民の心よりの歓迎を受けつゝ滞りなく新邸に移れりと

銅像

○故高川子銅像落成 故高川子爵銅像除幕式は既記の如く昨年十二月十日午後二時二十分九  
段坂上に於て舉行したり。

○市川工學士銅像建設 陸軍歩兵中尉從七位勳六等功四級工學士市川紀元三氏は明治三十年  
七月東京帝國大學工科大学を卒業したる後山口電燈會社 箱根水力電氣 小田原電氣鐵道、京  
濱電氣鐵道、深川電燈會社等の技師長に歴事して電氣應用の秘奥を究め會て一年志願兵として  
豫備歩兵少尉たりしより 日露戰役には勳橋聯隊に從ひ各所に轉戦し遂に三十八年三月七日奉  
天附近會戰の際李官榮に於て名譽の戰死を遂げたるが 當時の司令官奧大將は其の忠烈を壯  
して感狀を授け殊勳中の殊勳を以て其勳に申請して 特に功四級金鵄勳章並に勳六等單光旭日  
章叙賜の榮を荷ひたり 氏の郷里なる靜岡縣磐田郡中泉町有志は一大銅像(高八尺五寸)の建設  
を發起し原型を東京美術學校教授海野美盛氏に鑄造を久野留之助氏に囑託したるに 鑄造  
したるを以て之を遠江國中泉停車場附近に建設し近々其餘除幕式を行ふ筈なりと。

○我邦に於ける銅像 我邦に於ける銅像の建設は一年に増加し來り從つて其製作建設に關  
する技術の進歩著しきものあり 今之が歴史と其進歩の程度に就き美術家の談話を綜合にして  
左に掲げすべし。

△佛教の渡來 遠く古に遡つて我邦に於ける銅像の濫觴を尋ねれば推古天皇の御宇佛教の渡  
來と共に多くの佛像輸入せられ之と同時に我邦に於ても創めて之を鑄造したるが嚆矢にして  
此の時代にありては未だ尙者工なく從つて又傑作と稱するに足るものなく 唯だ佛教崇拜の副  
産物として到る處に滿佛を見たるに過ぎざるのみ。

△奈良の大佛 降つて聖武天皇の頃大御心によりて奈良の都に大佛を建立する事となり之れ  
と相前後して奈良西の京にも藥師如來の坐像の建立を見るに至りぬ 高さ九丈脇師は立像にし  
て一丈一尺あり之をば藥師堂の金堂に安置したるが其製作鑄金の妙を得たるは今日と雖も恐  
らく其比を見ざるなるべし 其他大和國高市郡にても藥師如來の坐像を鑄造せし事あり是亦た  
藥師堂の講堂に安置せられぬ 其技術は稍や前者に劣れりとの評あれど我邦に於ける佛像建立  
の端々にて開かれて爾來到る處に佛像鑄造の事ありき。

△鎌倉の大佛 六百有餘年鎌倉隆盛の時代に於て座像五丈餘の大佛は建立されたり後ち豊臣  
秀吉も座像三丈餘の大佛を建立し二者共に其技の妙を得たるものなりしが 惜むべし後者は取  
毀はされて寛永通寶の材となり見るに足らざる木彫を以て之に代へられぬ。  
△各地の諸佛 以上列記したるもの外に佛教師依の講申若くは信者が建立せしもの實に無  
數にして寺院の構内若しくは路傍の雨曝しとなり居るもの亦少からざれども 要するに徳川時  
代に於ける佛像には一の名作なく 更に明治の御代に至りては佛像中鑄造は轉じて歴史

中の功績者若しくは維新前後に於ける勳功者等の銅像製作となり 忽ち今日の盛況を見るに至  
り。

△各地の銅像 今各地に在る歴史人物及び現代偉勳者の銅像の重なる者を算へんか長州萩の  
公園には長沼守敬作の毛利公銅像あり 筑前博多箱崎の公園には竹内久一作の日蓮上人及山崎  
朝雲作の龜田天皇あり 京都南禪寺には白井雨山の北垣國道男熊本水前寺公園には高村光雲主  
任作の乘馬の長岡護全、長崎市には沼田一雅外一名作の松田源五郎あり以上各々其作風を異に  
し各地に於ける多数の銅像中最も其技に長じたるものなりといふ。

△東京中の銅像 佛像より變化して歴史的人物の銅像を建設したるは明治十年金澤市築六  
公園に日本武尊の立像を建立したるを以て嚆矢とす 之が圖案は岸光景にして鑄造は越中高  
岡に於てし其高さ一丈餘あり 又東京に於ては明治二十四五年頃大熊氏廣の原型、砲兵工廠の  
鑄造に係る大村益次郎氏の銅像を建立したるが最初なる由左に銅像中重なる者を擧ぐべし。

- |        |          |
|--------|----------|
| 大村益次郎  | 大熊氏廣     |
| 西郷隆盛   | 高村光雲     |
| 小菅工兵大佐 | 高村光雲     |
| 北白川宮殿下 | 藤田文造     |
| 有栖川宮殿下 | 藤田文造     |
| 瓜生岩子   | 新海竹太郎    |
| 西村勝三   | 大熊氏廣     |
| 川上操六   | 同 人      |
| 陸奥宗光   | 主任 高村光雲  |
| 大隈重信   | 主任 美術學校  |
| 川田剛    | 主任 藤田文造  |
| 後藤象二郎  | 主任 小倉惣次郎 |
| 品川彌二郎  | 主任 山田鬼齋  |
| 渡邊辰五郎  | 主任 本山白雲  |
|        | 主任 同 人   |
|        | 主任 黒岩淡哉  |
- △銅像の高さ 右に述べたる大村益次郎氏の銅像は其智識極めて幼稚の時代に於て原型、鑄  
金、共に経験少なき人々によつて造られる者なれば其技の幼くして石鑿の如き餘り高きに失  
し恰も竹竿の上に鳥の止まりたるが如き觀あるは餘儀なき所か 後日幾分か低く改造せられた  
るも尙ほ高くて數十間を隔だつるにあらざれば見る事難く從つて到底彫刻の技を見る事能

1905 前 44

1898

叢錄



はずなり。

西郷の銅像 大村益次郎の銅像に次で建設せられたるは上野公園にある西郷隆盛の銅像は...

石室の高さ 以上の如く銅像の高さは一丈二尺を標準とせざるも其石室に至りては尙區々に...

楠公の銅像 市中に建設しある銅像中最も場所の宜しきを占めたるは二重橋外なる楠公の...

場所の選定 此他北川宮殿下、有栖川宮殿下、陸奥伯、大隈伯、川上操六子の銅像の如...

府下火災の重なるもの

- 神田の火事 十二月二十一日午前零時三十分頃神田區錦町三丁目九番地陸軍騎兵隊の用...

地方火災

- 師範學校全焼(秋田) 去十二月十日午前二時秋田縣師範學校より出火本校及び男女生寄宿...